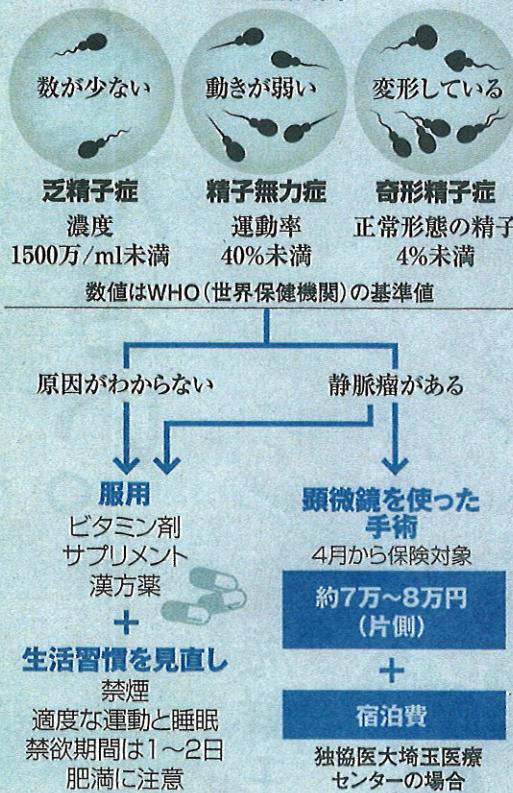


# 精子をつくる機能 多様な改善法

不妊に悩む男性の8割は、精子をつくる機能に問題があるとされる。そのなかでも多い、血液が逆流して精巣にこぶができる「精索静脈瘤」に有効な手術が、4月から公的医療保険の対象になった。食事や生活習慣を見直して精子の状態が改善する人もいて、治療の選択肢は広がっている。

**精子がうまくつくれていない  
「OAT症候群」の主な治療と対応**  
独協医大や横浜市立大への取材をもとに作製

## OAT症候群



埼玉県の会社員の男性(40)は6年前に妻(30)と結婚した。子どもを望んだが授からず、昨秋から、不妊治療ができるクリニックと一緒に始めた。

男性は精液検査で、精子濃度と運動率が世界保健機関(WHO)の基準値より低かった。これらの数値が低い状態は「OAT症候群」と呼ばれ、精子をつくる機能に問題がある。超音波(エコー)検査で左の精巣の周囲にこぶが確認された。精索静脈瘤と診断され、手術でかかる独協医科大埼玉医療センター(同県越谷市)を紹介された。

男性は「精子の状態が良かっただけで、改善する」と話す。しかし約3~6カ月後、患者の50~70%で精子濃度や運動率が改善する。数値が改善しなくともDNAが損傷した精子が減ったという報告も多い。9月に検査予定の男性は「精子の状態が良好になって精子をつくる機能が低下、精子濃度や運動率が悪化する。手術では、逆流している静脈を縛って切断する。別に静脈から血液が流れるようになると、こぶが消え、精子の状態を改善できる。自然妊娠や体外受精の成功率も高まる。

手術は複数の方法があり、4月に保険適用になつた顕微鏡を使う手術は、合併症や静脈瘤の再発率が低いとされる。一方、高い技術が必要で、時間をかけて手術で、費用は1泊の宿泊費を含めて約8万円。保険適用前より患者負担は約15万円少なくてすむ。男性は「妻と私は不妊治療に毎月4万~5万円使っていた。保険が使えてよかったです」と話す。センターによると、手術

「原因がわからない人や手術に抵抗がある人にはビタミン剤などの服用、禁煙や生活習慣の見直しやサプリメントなどの服用を指導するケースも広まっている。横浜市立生殖医療センターの湯村寧部長らは2012年4月~15年9月、不妊男性66人にビタミン剤や漢方薬をのんでもらった。治療前と治療後1カ月、3カ月で精子の運動率や濃度が上がり続けた人は約半数の34人、うち13人は妊娠に結びついた。ビタミンEは抗酸化作用、ビタミンB12は精子をつくる機能を高める」と期待されるという。

湯村さんが代表を務めた厚生労働省研究班の調査では、不妊男性の8割は精子をつくる機能に問題がある「造精機能障害」。うち精索静脈瘤は30%、原因不明は42%あった。湯村さんは

## 男性不妊 精索静脈瘤の手術、保険対象に

男性は今年6月、セントラルの岩端威之医師

「なることを信じて待ちた」と話した。

精索静脈瘤は精巣から静脈を通じて心臓に戻る血液が逆流して生じる。思春期一般男性の約15%にあると言われる。こぶがあることで精巣の温度が上がるなど

以降にできることが多く、一般男性の約15%にあると言われる。こぶがあることで精巣の温度が上がるなど

が逆流して生じる。思春期一般男性の約15%にあると言われる。こぶがあることで精巣の温度が上がるなど

## 食事・生活習慣も関係

「原因がわからない人や手術に抵抗がある人にはビタミン剤などの服用、禁煙や生活習慣の見直しを勧めている」という。暮らしそぶりとの関係を示す研究も多い。欧州の研究では、適度に運動する人のほうがそうでない人よりも精子の運動状態が良かった。子の運動状態が良かつた。約2千人を調べた欧州の別の研究によると、不妊の原因がある男性は、パートナーが妊娠した男性に比べて

熱がこもるボクサー・パンツをはくと精子の質が悪くなりやすい、射精しない「禁欲期間」が長いほどDNAが傷ついた精子の割合が高いという報告もある。

湯村さんが代表を務めた厚生労働省研究班の調査では、不妊男性の8割は精子をつくる機能に問題がある「造精機能障害」。うち精索静脈瘤は30%、原因不明は42%あった。湯村さんは

「原因がわからない人や手術に抵抗がある人にはビタミン剤などの服用、禁煙や生活習慣の見直しを勧めている」という。暮らしそぶりとの関係を示す研究も多い。欧州の研究では、適度に運動する人のほうがそうでない人よりも精子の運動状態が良かつた。子の運動状態が良かつた。約2千人を調べた欧州の別の研究によると、不妊の原因がある男性は、パートナーが妊娠した男性に比べて

熱がこもるボクサー・パンツをはくと精子の質が悪くなりやすい、射精しない「禁欲期間」が長いほどDNAが傷ついた精子の割合が高いという報告もある。

湯村さんが代表を務めた厚生労働省研究班の調査では、不妊男性の8割は精子をつくる機能に問題がある「造精機能障害」。うち精索静脈瘤は30%、原因不明は42%あった。湯村さんは